

きほくのまち人探訪

「楽しく活動しながら老人クラブの活性化を」



いのうえ ゆくひろ
井上 征廣さん

老人クラブ連合会の会長を務める井上征廣さん。副会長を2年務めた後、今年6月に就任しました。老人クラブ日吉支部長と日吉父野川地区の老人クラブである春秋会の会長も兼任し、忙しい日々の中にもやりがいを感じながら活動しています。

井上さんは、15年ほど前に春秋会に入会。60代後半を迎え、同年代の友人たちも老人クラブで活動を始めたことから入会を決めました。活動の縮小や解散する老人クラブもある中、春秋会では、クロッケーや健康体操、料理教室など幅広く活動を実施。会員が13人

ほどにまで減っていたときもありましたが、活動の楽しさを伝えながら入会を呼びかけたことで、現在37人の方が活動しています。

今年で82歳になる井上さんの健康の秘訣は運動と、人と交流をすること。運動では、卓球やペタンク、クロッケーの練習に毎週汗を流すそうです。

合併時41クラブあった老人クラブは、現在34クラブにまで減少。会員数も大幅に減っています。井上さんは「自分たちが楽しむことが大切。交流を深めて、活動を楽しみながら会員を募っていき」と笑顔で話していました。

ALTの鬼の里Diary ~ Ada's編 ~

「I want to cherish nature more」



秋は、私が好きな趣味であるキャンプやハイキングを行うのに最適な季節です。故郷のアメリカには、祖父が山の上に建てた山小屋があります。そこは、川のすぐ近くにあり、森に囲まれていて、リラックスできる私のお気に入りの場所です。

この山小屋は、カリフォルニア州のシエラネバダという山脈にあり、年々深刻化している山火事に見舞われます。これまで煙に悩まされることはありましたが、火事が直接私たちに影響を与えることはありませんでした。

しかし、今年の夏、大規模な山火事

「カルドロー・ファイア」が発生。私たちの思い出の詰まった山小屋が燃えてしまうのではないかと、不安な気持ちで約2週間を過ごしました。奇跡的に山小屋は無事だったものの、私たちの大好きな森が、もう元には戻らないと思うと悲しくなりました。

現在、大規模な火災が発生しているのは、気候変動の影響もありますが、森林管理がうまくいっていないことも原因の一つです。この経験から、いつか自分の子どもたちに豊かな自然を見せてあげるためにも、もっと自然を大切にしていきたいと思いました。

地域おこし協力隊活動日記

「四季を楽しむ2年目の鬼北生活」

地域おこし協力隊2年目

まさき たけお
正木 健夫



段々と肌寒い季節になってきました。この季節も鬼北町で過ごすのは2度目になります。四国は関西より暖かいイメージを持っていたため、今年の冬は鬼北の寒さに驚きましたが、一年間過ごすと、これほどの四季の違いを肌で感じられるのは、鬼北町のいいところですね。桜、新緑、紅葉、雪化粧と、視界からも四季を感じます。

最近、空も澄んで星がとてもきれいで思わず立ち止まって眺めることがあります。都会では味わえない光景です。寒さが厳しくなるとますます星もきれいに見えるでしょう。

柚子が黄色になると紙漉きシーズンの冬が来たと感じます。いろんな楽しみもあるので、四季を感じながら鬼北生活を楽しんでいます！

季節の変わり目です。体調を崩しやすいので、皆さんお体にはお気を付けてください。早く元の生活に戻るように、新型コロナの収束も願っています。



▲雪に覆われた鬼王丸